

220713 天守閣部会

(名古屋市民オンブズマンによるメモ)

14:00

加藤主幹：はじめる

上田所長：こんにちは

前回 令和3年3月 1年4か月ぶりの開催

ブランク 申し訳ない

数々ある天守の課題 解決して努力

今年度 全体計画 木造天守整備基本計画を年度内に取りまとめたい

課題多々あるが、しっかりご指導ご助言を

本年度内にまとめたい

・今後のスケジュール

・基本計画

忌憚のないご意見を

加藤：出席者紹介

瀬口、小野、川地、西形、麓、古阪、三浦、浅岡

事務局紹介 教育委員会2人、竹中工務店20人

安井建築3人 名古屋城14人

ビデオこれまで

資料確認

★構成員 資料編を用意した

議事は座長に一任

瀬口：今後のスケジュール 事務局から説明を

加藤：資料1-1

今年5月に提出 一区切りついた

今年度取りまとめたい

平成29年度から議論 平成30年度案をまとめた

課題など

石垣の保存方針、基礎構造の方針

バリアフリー 公募結果が12月に明らかになる

今後9月10月1回、12月1回、年度末に1回

資料 1-2 資料案 文化庁には中身を見せていない

おおむねこういう風な構成でよかろうという感触

A 本編

B 図面

C 資料

今回は赤字で書いた章を議論する

瀬口：ご意見ご質問があれば

特にないようなので、次へ

14:13

加藤：資料 2

章ごとに説明 ご意見いただければ

指定、一層の魅力向上 全体の保存活用計画

本質的価値とは何か

6 ページから 構想

11 ページ 整備基本構想

穴蔵石垣 近代以降に積みなおし 整備・修復は検討・整理中

16 ページ スケジュール

14:21

瀬口：ご意見・ご質問は

川地：参考までに聞きたい

3 ページ 配置図 すべて復元していく

かつての松山茶屋 遺跡

御深井御庭 どうするのか

村木：下御深井御庭 最近遺跡になった

今回実質的初めての調査

絵図、文献資料進めてきた

今は遺跡 特別史跡の範囲ではない

文献資料の調査 実態を把握したい

調査状況に応じて検討

川地：ありがとう

三浦：どうでもいいかもしれないが

7 ページ左上 本丸多門櫓 写真はない→ずいぶんたくさん残っている
本丸馬出→写真が2点写っている 書き直さないと
将来計画について 実現可能性 修正した方が

加藤：修正して次回報告する

瀬口：1 ページ 内郭全図

区別して呼んでいる 下御深井御庭 入っている
その後 名城公園のところは入っていない
名称バラバラ 統一を
17 ページ 部会 注1 設置年が分かるように
14 ページ 年代が大きく異なる
コンクリート天守と本丸御殿 ギャップが大きすぎる
両方が近世に整える 方がストーリーからするとよいのでは
ア 内部は近代様式
観光施設として作っている 施設の中身が重要
内部については観光施設 明示した方がよいのでは
オ 契機とする 名古屋特殊の位置づけは
名古屋城天守の位置づけはどのような位置づけか
13 ページ 昭和 20 年は 3 期に入るのか

加藤：再検討して次回報告する

表 焼失が 3 期？ 2 期？ 検討する

瀬口：2 章 20 ページ

14：31

村木：どんな遺構か 中長期的に

工事が予定されている 本章には含んでいない 別
・天守台石垣
・それ以外

天守台石垣の修復 現況の把握 今年 3 月とりまとめ
その後全体整備検討会議で 指摘事項 概要版
文化庁に報告
資料編は間に合わなかったが、調査内容を整理した
問題点、課題を整理した

調査内容 21 ページ 右側

課題 22 ページ ア～カまで

被熱以外の劣化、抜け落ちも

内堀堀底調査 かく乱、堀底に石列把握

22 ページ下 概要をまとめた

日常的維持管理、修復 調査研究

23 ページ 面ごとの課題 考え方

修理、復旧を考えないといけないことも

具体的にどう対応策 今年度中心的に議論する

現時点では精査中

23 ページ右側 天守台の遺構

穴蔵石垣 天守台そのものの遺構

盛り土、穴蔵階 床面遺構

名古屋城本質的価値 適切に保存が必要

天守穴蔵階礎石 移設して御深井丸に展示

本来の位置を移動している 遺物

現在の位置に移設

露出展示の環境整備を検討する

御深井丸も含まれている

資料24ページ 地下遺構の調査 行ってこなかった

文献調査 テストピットトレンチ調査

数多く遺構があるわけではない→数多くは発見していなかった

水道 盛り土を確認した

浅いところ 事業を行う上では注意

14:39

瀬口：ご質問ご意見は

西形：石垣 名古屋城で石垣に関する文化財調査、工学的調査

綿密に行ってきた

工学的データ 必要な調査 ほぼなされていると思う

昨今 文化庁が「石垣耐震マニュアル」作った

対応するにはデータを持っている

耐震マニュアル どういうふうに対応するか

流れに従って検討する予定があるか

現在の状況のお考えを

村木：マニュアル 熊本城 案を示されたと理解
理解に努めている
中身を正確に把握しないと 対応に努める
聞き取り調査をしている
情報収集しながら

瀬口：ほかには
石垣耐震マニュアル 安全性に関する指針か？
ありがとう
これまでは工学的裏付けがなかった

西形：やっと出てきた

古阪：コロナ 名古屋城を見る
資料をもらう 読んでいる
文化庁とやっていることと違う
市民にも説明を
京都この程度ではない 見せることが重要
戦争で失った
5年たっている 亡くなっている
いつまでやるのか
結局 強く感じる

加藤：念頭に置いて

瀬口：19ページエ
調整会議（非公開）
情報公開していない
認識した方がいい
他には

14：45

（途中退席）